
猿に惑星

西宮尚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猿に惑星

【Nコード】

N1807C

【作者名】

西宮尚

【あらすじ】

20XX年。人類よりも猿を大事にする法律が惑星会議で成立された。果たして、人類はどうなるのか？シヨートシヨートSFになります。

20XX年。

人類よりも猿を大事にする法律が惑星会議で成立された。

常識で考えると絶対に通りそうにない法律である。

しかし、数十年にわたり間違いをおこさず、世界に秩序と平和をもたらしてきたコンピューターが提案したため、それを信頼し、自分で考えることを怠っていた人類は、疑問を持たずに法律にしてしまった。

しかし、法律が施行されると、それは、人類に対してかなり厳しいものになった。

猿が都市部に移住して、人間は住居もない荒野に押しやられた。

製造された食料や衣料は猿に配られて、人間には粗悪な残り物を与えられた。

人類は、コンピューターとロボットに守られた快適な衣食住を失ってしまったのだ。

そして、猿に惑星を明け渡してしまったことを後悔した。

人類は結束して反乱軍を結成した。

しかし、法律の番人であるロボット達にはかなわなかった。

人類は、コンピューターを恨み、猿に不満を持ちつつも、その下でほそぼそと暮らすようになった。

そんなある日、宇宙人が地球にやって来た。

宇宙人は、人間のリーダーに会って言った。

「私たちは地球を征服します。」

普通に征服を行う場合、この惑星の特徴や生物の行動パターンを調査するところから始めないといいけません。

それを私たちで行うのは、多大な時間や費用、労働力が必要になります。

ですので、支配者に蹂躪されている生物と手を組んで、その生物に調査を任せる方針です。

それに、人類が選ばれました！

征服後には、人類は優遇されますが、いかかでしょうか？」

人類は、コンピューターが正しかったことを知った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1807c/>

猿に惑星

2011年1月26日05時22分発行